



▼ 第1回ワークショップを開催しました——

「天下茶屋がこうなったらいいな」のアイデアを出そう！

去る6月4日(水)、昨年度から続く天下茶屋のまちづくりを考えるワークショップ「ガチャ・ピン」が、西成区民センターで今年度初めて開催されました。参加者は、市民・行政・民間企業など様々な人が集い、天下茶屋の「こうなったらいいな」を考える機会となりました。今年度は、地域の人やお店、活動団体などのみなさんと一緒に、天下茶屋をもっと楽しくするアクションを話し合うワークショップを開催。このワークショップで出てきた「やってみたい！」を、社会実験「天下茶屋フェス(仮・秋頃実施予定)」で実現していきます。



▲ワークショップの様子
多くの参加者で盛り上がりました！



▲名刺交換ゲームの様子
初めましての方と交流を重ねました！

《アイスブレイク》

みんなで“名刺交換ゲーム”！

配布された白紙のカードに「呼ばれたい名前」、
「天下茶屋のお気に入り」を書き込み、即席名刺を準備。それを持って、初対面の人に自己紹介をしてもらいました。最初は話しかけづらい雰囲気でも、名刺をきっかけに自己紹介できて、楽しい時間になりました。

《グループワーク①》

あなたの、みんなの“ピン”

天下茶屋のお気に入りのポイント=ピンとして、まず、個人的な“ピン”を考え、グループで共有しました。次に、グループで「オモロイ！」と感じたピンを深掘りし、みんなの“ピン”について意見交換。各グループで立てられた“ピン”は、飲食、音楽・アート、歴史、交通、スーパー、まちの情報など多岐に渡りました。



天下茶屋のみんなの“ピン”(=お気に入りのポイント)



《グループ発表》

みんなで考えた「天下茶屋のピン」

グループ間の発表で出た意見を下記にまとめました。

【Aグループ】

路地と歴史、
そして音楽がつなぐ、
天下茶屋のまちの魅力



天下茶屋駅周辺の路地や街道沿いの歴史的な風景に注目し、地域に根付いた職人文化や人々の記憶を再発見しました。また、大阪フィルハーモニーの存在や、駅前でのミュージシャンの演奏など、音楽のある風景もこのまちの特徴として挙げられました。松虫通りのように風景が変わる場所や、かつての屋上文化など、まちの多様な表情を通じて、「人がつながるまち」であることを再確認する時間となりました。

【Bグループ】

人情・歴史・文化・
アート・食・交通を
つなぐHUB



「人情」「歴史」「文化・アート」「食」「交通」の5つを軸に、天下茶屋の魅力に関するピンを整理しました。これら多様な魅力が交差する天下茶屋は、「大阪のHUB」としての可能性を持つ場所だと捉えています。訪れる人のさまざまな好奇心を満たしてくれるピンが点在しているからこそ、それらが“雑多でありながら美しく見える（汚い印象にならない）”ような見せ方を工夫することで、さらに魅力的なまちになるのでしょうか。

【Cグループ】

子どもと文化をつなぐ、
アートのまち・天下茶屋の
可能性



天下茶屋界隈に根づく「美味しい飲食文化」とともに、音楽やアートを愛する人たちが集まる地域の特性に注目！例えば、銭湯「天水湯」では水曜日に音楽イベントが、今宮小学校跡地では陶芸ワークショップが不定期に開催されるなど、まちには文化芸術にふれられる場が点在しています。そうした拠点を活かし、アーティストと子どもたちが継続的に関われる仕組みを築くことで、人々との縁がつながり、地域に根ざしたまちづくりが進む。外からの来訪者を意識するよりも、まずは地元の子どもの住民にとって価値のある場づくりが重要だと考えました。

▼今後のスケジュール——

まち歩きを実施します！

第1回ワークショップで話題に挙がった場所を中心にまち歩きを行います！ワークショップに参加されていない方でも歓迎です。

6月28日(土) 13～16時(予定)

【集合】天下茶屋駅 西口 マクドナルド前

【解散】旧今宮小学校（作業場）

※少雨決行・荒天中止